

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【与野本町小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策			
目標			策
知識・技能	さいたま市学習状況調査の国語・算数の「知識・技能」において、令和4年度より自校の平均正答率を3pt向上させる。	⇒	昨年度の校内研修の成果である「算数科における読解力の向上への取り組み」を国語科においても生かしていく場面を増やし、表現の仕方や思考ツールをより汎用性の高いものにして研究を進めていく。教育タブレット端末をはじめとしたICT機器を効果的に活用した反復・習熟の時間の確保を図ったりして、読解力向上に必要な語彙など基礎的・基本的な知識・技能を習得させる。
思考・判断・表現	さいたま市学習状況調査の国語・算数の「思考・判断・表現」において、令和4年度より自校の平均正答率を4pt向上させる。	⇒	本年度の校内研修である「国語科における読解力向上への取り組み」の研究を通して、NIE教育を取り入れながら、考えが共有・比較できるように思考を可視化するなど、協働的な学びの場を設定する。また、業前のチャレンジタイムの時間において、読解力向上に向けた問題を作成し、思考・表現力を高める。
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を9割以上にする。	⇒	本年度の校内研修である「国語科における読解力向上への取り組み」を進めるにあたり、まずは児童の文章を読むことに向かう態度を育成し、言語能力・情報活用能力の向上を図っていく。また、授業における「問題の読み取り」や「見通しのもとせ方」を研究し、自ら課題を解決しようとする主体的に学習に取り組む態度を養う。

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較すると、国語－3pt、算数＋3ptであった。国語では、基礎的な漢字の習得・活用、言葉の意味や使い方等において苦手がみられる。今年の校内研究の一環である「語彙の習得」の向上を目指す。
思考・判断・表現	「思考・判断・表現」においては、R4年度の自校の結果と比較すると、国語＋8.3、算数＋2.1であった。算数では、解答の根拠を言葉や数を用いて記述する問題で、正答率が低く、特に「図形」の領域に苦手がみられる。図形を扱う際には、式の意味や解答の根拠を図に表し説明する活動を重視したい。
主体的に学習に取り組む態度	質問紙における「主体的に学習に取り組む態度」に係る項目では、肯定的な回答が多く、友達との活動を通して自分の考えをより深めることができている。しかし、家庭学習において、自ら計画的に学習を進めることや学習時間の確保において課題が見られる。家庭への呼びかけを行い、保護者と協力して学習習慣の定着を図りたい。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)			
目標			策
知識・技能	変更なし	⇒	変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒	変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒	変更なし

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	